



札幌市立高校との連携事業 [4ページに関連レポート]

大学の使命と本学の活動状況



北海道医療大学 副学長 黒澤 隆夫

北海道医療大学は、昨年度には創立40年を迎え、その間、薬学部、歯学部、看護福祉学部、心理科学部、リハビリテーション科学部と5学部8学科及び歯学部附属歯科衛生士専門学校が整備されてまいりました。さらに、臨床施設として、北海道医療大学病院に加えて、札幌あいの里キャンパスに「地域包括ケアセンター」を開設し、本学の目標である「新医療人育成の北の拠点」を目指しつつ、保健・医療・福祉の中核として地域社会とのより深い連携体制を築き上げつつあります。

現代の大学の使命は教育・研究、地域連携、国際交流の三点であり、これらの活動状況が大学の社会的評価に大きくつながっております。本学の多くの卒業生は地域医療を支えるリーダーとして地域社会で非常に高い評価を受けており、今後も、医療系総合大学として40年間培った教育研究の薫陶を受け、それらを修得した医療人としての卒業生を社会に輩出していくことが本学の強みでもあり、使命でもあります。

医療系総合大学として、本学では道内の数百を超える医療施設との間で連携を結び、臨床実習教育の一端を担っていただいております。一方、医療に限らず、地域の人材育成、産業活動の活性化等に関与することは大学としての重要な使命と考えられますが、本学では、その一環として地元当別町と滝川市との間で「包括連携協定」を結び、保健、医

療、福祉などの幅広い分野での共同事業を開始するに至りました。既に2年が経過し、多くの成果が上がってまいりました。そこで、本学では、これらの事業をより広く推進するために「地域連携推進室」を設置し、本格的な活動を開始しており、今後の成果が期待されるところであります。

第三番目の国際交流活動につきましては、本学では、アルバータ大学間との語学研修等古くから多くの海外の大学との提携協定がありましたが、名目的な協定に過ぎなかったケースも多々ありました。しかしながら、この数年は、各学部において新たな大学間連携協定とともに、教員の派遣・交換、留学生の交換、あるいは歯学部にもみられるような海外臨床実習など実質的な活動が活発に行われております。また、昨年度より、本学とサハリン州との間で連携協定が結ばれ、協同シンポジウムの開催や医療技術の講習、あるいは本学教員による講演会などが、本学とサハリンで共に開催され、活発な共同事業が展開されつつあります。本学では昨年度に、専任教員を配置した「国際交流推進室」が設置され、上記海外共同事業の積極的な推進を行っております。

本学では、これらの活動を通じて「新医療人育成の北の拠点」につなげていきたいと考えております。どうか皆様に本学の活動をご理解していただき、さらなるご協力をお願い申し上げます。

CONTENTS

大学の使命と本学の活動状況	1
新任教員紹介	2
定年退職される先生からのメッセージ	
札幌市立高校との連携事業	4
2016年度入試結果速報	5
「福祉・介護のしごと説明会」を開催 地域包括ケアセンター竣工式を挙げる	
同窓会活動状況	6
看護福祉学部・山田律子教授が 「第14回 杉田玄白賞」を受賞 歯学部 越野寿教授が、 「ICT利用による教育改善研究発表会 平成27年度 奨励賞」を受賞 SCP決定	8
STUDENT'S ACTIVITIES & EVENTS	9
私の学生時代	10
OG訪問 [臨床福祉学科]	11
TOPICS EDITOR'S NOTE	12